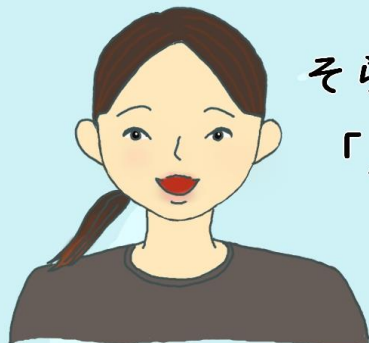


## そらしーど社員Interview Vol. 4

### 「人生の先輩達から生きるコツを沢山学ぶ」



## そらしーど社員Interview Vol. 4

### 「人生の先輩達から

### 生きるコツを沢山学ぶ」

### 訪問介護職員Yさん

元々アパレル業界にて働いていたYさん。しかしコロナの影響もあり中々正社員になれませんでした。そんなとき学生時代に経験した福祉施設での実習を思い出し、介護関係で働いている母、兄からも影響を受け、福祉業界での仕事を探し始めます。そらしーどに入職したのは2020年11月、コロナ禍での初めての介護でした。

ヘルパーYさん

ー20代・女性

ー最近始めた趣味はぬり絵

※掲載内容は取材当時のものです。（2022年7月14日）

## 初めてだからこそなんでも吸収

——訪問介護をしていて、面白いな、と思うことはありますか？

掃除サービスとかで、利用者さんから指示される時に、「こうやると上手くいくよ」って、人生の先輩に教えてもらえることが多くて、それって結構日常生活にも役に立つことが多いんですよ。仕事しているだけで家事とかの能力があがっていくから、プライベートに生きることが多いです。利用者さんだけでなく同行したサ責さんからも、こうしたらいよ、とかこうした方が時短になるよ、とか聞けてそういうときは「あ、ラッキー」とか思っていますね。この仕事をしているからこそ家でも丁寧に掃除が出来たりしてそういう時は気持ちが良いです。

——やりがいは何ですか？

介護は究極の接客といわれるけど、接客ならではの「ありがとう」を直接言われることがやっぱりやりがいですね。なかなかパソコンの仕事とかだと言われないかな、と思います。あとは現実的な話ではありますが、サービス時間が処遇改善にそのままリンクするのでモチベーションになります。沢山働いたらその分比例してあがっていくので。

補足説明：そらしーどの処遇改善加算(介護職員の賃金向上のために介護報酬を加算して支給する制度)ー 前月のサービス提供時間数に応じて、基本給に加えて翌月支払われる。常勤訪問介護員で月額2万円から7万円程度。詳しくは…[募集要項ページ](#)

——介護って、色々大変なこともあると思うんですけど、その中で関係性を築けてきた利用者さんもいますか？

いますね～。いわゆる困難事例の方とか…。

——困難事例ってなんでしょう？

区が把握している中で、ここはすごく大変だと言われていているところがあるんですよ。身体上で難しいというよりも、性格上や家族関係上での困難事例が多いんですけど、例えば息子さんが虐待をしてしまっているところとか、そのご家族さんがすごく細かくて大変だったりとか…。事業所が入れ代わり立ち代わりしてしまい、なかなか長く続かないところとか…。そういうところが困難事例と言われてますね。

そういうお宅は最初はサ責が入っていたりするんですけど、私も後々そのサービスに入って、始めは若いからって期待されなかったりするんですけど、くらいついて、必死にやっていたら打ち解けるようになって、何でもない話でもできるようになったり…。そういう感じで関係を築けていっているところもありますね。自分がお休みの時とかに他の人が入るよう調整するときも、「いや、あの子がいいから他の曜日でもいいよ」とかそういう感じで言われるとちょっと嬉しくなってきましたよね。時間もかかりますけど、頑張ってきたかいがあると感じます。

補足説明：困難事例ー「介護支援専門員や地域包括支援センターの職員が困難を感じる人が多い事例」(世田谷区より)

長短期記憶がなくて、でもしゃべりははっきりしているからすごい攻撃的になる人もいますね…。

——そういう攻撃的になってしまう利用者さんにはどう対応していますか？

例えば買い物代行サービスで、頼まれたものを買ってきたのに、「これ頼んでいないじゃない！」って言われたとしても、「いや、でもこれっていいましたよね！」って割と強めに返したり、自分がどれくらい強気で行けばいいのかとか、わかってきますね…。けどその人の状況によって平謝りなところもありますよ。「すみませんじゃあ次から気を付けますね」と言って対応する場合もあります。

何度か利用者さんの所に入っているとなんとなく分かってくることもあるし、そういう人って他の人にもだいたい同じだから、申し送りを見ると他のヘルパーさんがどうやって対応しているのかわかるし、サ責に相談することもあるし…段々と分かってくる感じかな。

## 根性がある、彼女になら頼める、と思われるヘルパーになりたい

——理想のヘルパー像はありますか？

理想のヘルパー像は…この会社にいるサ責の方で、世田谷で2番目の困難事例でもサービスに行っている方がいらっしゃるんです。目指すところっていうとおこがましいけど、そこまで近づきたいなって思いますね。そのサ責しか入れないようなお宅もあったりして、そういうのをみていると本当にすごいなあって思いますよね。

イラスト：サ責同行教わってる様子

——その方はどんな風にサービスしているんだろう？

その方とサービス同行を行ったとき、寝たきりの方のお着替えを手伝うことがあったんですよね。普通は着替え介助をするとき、袖の中に自分の腕を入れて、迎え袖をして着させるんですよね。でも夏に自分が汗かいている状態で、利用者さんがこれから着るお洋服に腕を通してしまったら汚いじゃないですか。だからそれに気を付けてって言われたことがあるんです。じゃあどうやってやるのかって言うと、ズボンの裾などはできるだけ手だけで手繰り寄せて、極力腕に当たらないように、最後に足を掴んで利用者さんに着せるんです。

その時、そこまでできるサ責って中々いないなって思ったんですよね。清潔不潔を気にしつつ、物品の無駄もないように、最低限だけど不潔な部分は絶対に素手で触らないようにとか、そういう感覚。その人のもっている素質がすごいなって感じます。細かいところまで配慮があってテンポがいいんです。

——これからの目標はありますか？

目標は、サ責側からの意見として、この人だったらどんな利用者さんでもいける、根性あるから大丈夫、とか思われるようになりたいですね！

———最後になになにか…

もし同年代の女の子がいたら、是非一緒に働きましょう！待ってまーす！

———ありがとうございました(^)！